

「無言館」で思うこと

戦没画学生
「祈りの絵」

「無言館」館長 窪島誠一郎さんが語る

第42回

民主文学

信州青木村

豪華な講師陣
成澤 榮壽 (歴史家)
澤田 章子 (文芸評論家)
田 島 一 (作家)

特別ゲスト講師
窪島誠一郎 (無言館館長)

新しい文学創造の旅

田沢温泉・和泉家旅館

文学学校

早春の信濃路で平

和と文学を語ろう

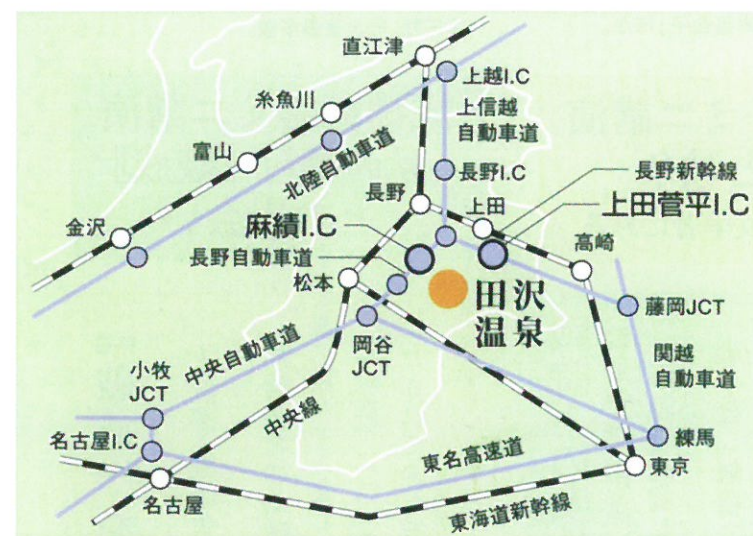


《青木村周辺観光ガイド》
無言館(上田市)／国宝大宝寺三重塔(上田市)／田沢温泉／沓掛温泉／別所温泉(山本宣治碑ほか)／宝暦義民の墓／歴史文化資料館／道の駅あおき／上田城址公園(上田市)／リフレッシュパークあおき、など。
和泉家旅館隣のますや旅館(写真上左)は島崎藤村ゆかりの宿です。

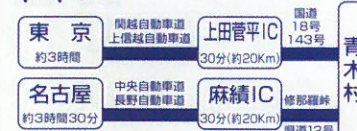
湯元 和泉家旅館



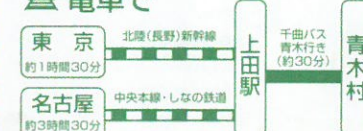
宿舎／田沢温泉・和泉家旅館外観。湯は源泉かけ流し。



車で



電車で



全日程 (スケジュール)

【3月27日(金)】

09:15 池袋東口駅前バス停集合(希望者)
09:40 高速バス出発
13:07 上田駅着(旅館より迎車あり)
14:00 受付開始
14:30 開校式＝スケジュール説明 各講師の紹介
各講師によるミニ講演
16:00 各自部屋へ
18:00 夕食
19:00－20:00(自己紹介・ガイダンス班別ゼミ①)

【3月28日(土)】

08:00 朝食
09:00－11:00 班別ゼミ②
11:00－11:50 昼食
12:00 旅館のバスで「無言館」に出発
12:30－14:00「無言館」にて戦没画学生の絵画展示作品を鑑賞。
14:00－16:00「無言館」館主・窪島誠一郎氏の講演および氏との語らい。
16:15 17:30 別所温泉(山本宣治の碑・国宝安楽寺八角三重塔・北向観音など見学)
18:00 夕食 19:00より、班によって夕食後補習となる場合もあります。

【3月29日(日)】

08:00 朝食
09:00－12:00 班別ゼミ③(適時休憩を入れます)
12:00－13:00 昼食
13:00－17:00 班別ゼミ④(適時休憩・自由時間を入れます)
18:00－21:00 夕食をかねて全員参加のお楽しみ会。

【3月30日(月)】

08:00 朝食
09:00－11:00 班別ゼミ⑤
11:00－12:30 閉校式・記念撮影
12:30 解散

◎緊急連絡＝責任者・宮本阿伎＝携帯090-8114-5008

受付中

お問い合わせ ☎ 03(5940)6335 FAX 03(5940)6339
お申し込み E-mail=info@minsyubungaku.org

〒171-0005 東京都豊島区南大塚2-29-9 サンレックス202 日本民主主義文学会内 創作研究会宛

20
山の文学学校申込書

フリガナ ご芳名	男 女	生年 月日	年 月 日生
郵便番号 ご住所			
電話番号 携帯番号	() ()	FAX番号 E-mail	() @
班別ゼミ／第1希望および 第2希望をご記入ください。	第1 希望	第2 希望	

日本民主主義文学会(創作研究会)御中

振替 00120-3-58076 日本民主主義文学会

2020年3月27日(金)～30日(月)3泊4日/先着40名
参加募集要項

写真は無言館全景

テーマ別のゼミナール・ご希望の班をお選び下さい



実作研究
講師 田島 一

講師略歴

田島 一(たじま・はじめ)作家
1945年、愛媛県生まれ。日本民主主義文学会会長。日本文藝家協会会員。『遠景の森』で第26回多喜二・百合子賞受賞。著書、『時の行路』(正・続)、『争議生活者』ほか。

田島 一ミニ講演 『時の行路』 三部作を描いて

実作研究
読み手の心を
とらえる作品に！
受講生の皆さんの作品について、「どうすれば読み手の心をとらえるものにな

るか」を考え、改稿の方向も探りましょう。書きはじめの人、創作歴の長い人も、それぞれの到達に相応しく批評しあい、創造の喜びを味わえる濃密なゼミにしたいと思っています。



映画「時の行路」



戦時下の女性たち
講師 澤田 章子

講師略歴

澤田章子(さわだあきこ)文芸評論家
1942年東京生まれ。出版社勤務、高校教師を経て、生涯学習講師。日本民主主義文学会会員。著書『一葉伝―樋口夏子の生涯』、共著『今に生きる宮本百合子』ほか。

澤田章子ミニ講演 女性と戦争 ―近代女性文学者にみる

戦時下の女性たち
戦争の時代を描いた短編小説を鑑賞し語り合う。
戦争は「銃後」と言われる国民の生活の隅々まで、軍国の風を吹きつけました。息子を、夫を、恋人を軍隊にとられた女性たちの思

い。引き上げ船にとじ込められた母親の苦難。そして兵隊宿の息子やハンセン病療養所の子どもたち。短編小説を通して「銃後」を追体験するとともに、彼女、彼らはいかに描かれたかを味わい、文学作品の真価について語り合いました。

▼テキスト
大原富枝「祝出征」、藤原てい「襦袢」、竹西寛子「兵隊宿」、冬敏之「その年の夏」。集英社文庫ヘリテージシリーズ・コレクション戦争と文学4『女性たちの戦争』に収録されています。



『破戒』を読む
批評・解説を批判する
講師 成澤 榮壽

講師略歴

成澤榮壽(なるさわ・えいじゅ)歴史研究家
1934年東京生まれ。元長野県短大大学長・前部落問題研究所理事長。著書『日本歴史と部落問題』(部落問題研究所)『歴史と文学』(花伝社)ほか著書多数。

成澤榮壽ミニ講演 私の藤村『破戒』 との出会い

『破戒』を読む
―批評・解説を批判する
島崎藤村の『破戒』を素直に読んでみましょう。
『破戒』には「差別小説」だとされてきた受難の歴史

があります。殊に主人公瀬川丑松のこくはくとテキサス行が指弾されてきました。その視点から丑松の生き方は部落問題の解決にはならないとする、当時の史実にもと悖る不当な「批判」が作品論や文庫の解説などに

流布しています。歴史家としてその誤りを実証的にあきらかにしたいと思います。
▼テキスト
新潮文庫または岩波文庫の島崎藤村『破戒』。



窪島誠一郎氏

窪島誠一郎(くぼしま・せいいちろう)略歴

1941年東京生まれ。「無言館」館長。著述家、美術評論家。77年、幼い時に別れた父・水上勉と劇的再会。79年、上田に「信濃デッサン館」設立、97年に「無言館」設立。著書『父への手紙』『信濃デッサン館日記』『母ふたり』など多数。『民主文学』に「無言館」の庭から絶賛好評連載中。

「無言館」で思うこと

の糧とする気持ちだけは負けな
いつも。「無言館」の画学生たち
とともに、ぞんぶんに語り合いま
しょう。お会いする頃は、きつと上
田城址の桜は満開、さてわが「無
言館」の庭の桜はどうでしょう。

今春の「山の文学学校」の同志のご来館を、
心より楽しみにしています。講師の資格があ
るかどうかわかりませんが、「文学」を人生

メッセージ

窪島 誠一郎

窪島誠一郎さんの特別講演ご案内

3月28日(土)12:00 「無言館」に向けて旅館のバスで
出発。12:30～14:00 「無言館」戦没画学生の展示作

品を鑑賞。

14:00～16:00 「無言館」館主で作家の窪島誠一郎
氏による講演および氏との語らい。

開校・閉校・キャンセル ご確認の上、お申し込みください

- 集合・出発 (池袋東口駅前からのバス希望者)3月27日午前9時15分集合(場所は申込者に配布します)。池袋駅東口発9時40分～上田駅着13時07分。帰路は、上田駅発16時08分～池袋駅東口到着予定19時28分。お急ぎの場合11時30分上田駅発が有ります。
- 開校 3月27日14時00分受付開始14時30分開校式・ミニ講演
- 閉校 3月30日12時30分
*希望者は解散後、昼食を兼ねて上田城址へ花見散策。
- 初日と最終日を除く、なか2日間の昼食は500円程度の弁当を一括購入。宿は貸し切りですが、35人が収容の限界ですので一部は隣接の宿を利用します。
- 参加費・キャンセルについて。参加費、コピー代は3月15日迄に納入してください。なお、3月23日以降のキャンセルにつきましては、受講料返金不可。高速バス料金につきましても同日以降のキャンセルは全額ご負担いただきます。ご了承ください。

交通機関のご案内

集合場所は青木村・和泉家旅館。
受け付けは3月27日(金)午後2時より青木村・和泉家旅館(長野県小県郡・青木村田沢温泉)において開始します。予約申込完了の方に限ります。開講式は2時半に開始いたします。

●交通【高速バス】(西武高速バス＝池袋駅東口～上田駅前 片道3,600円◎コンビニで前日午後7時までに購入すれば片道3,100円＝希望者受付。関西方面からは深夜バス有り。

★【電車】北陸(長野)新幹線東京駅発―上田駅下車 名古屋から中央本線・しなの鉄道で上田駅下車など。

★上田駅には宿からの迎車、13時30分と14時の2回(所要時間30分)。個別に来られる場合、上田駅より青木村バスで田沢温泉下車、温泉街の狭い道を上り、共同風呂「有乳湯」の下道を右にまがった突き当りに和泉家旅館はあります。

★上記の高速バス以外のJRや高速バスについては各自手配してください。ちなみに東京駅―上田駅の新幹線料金は片道6,590円です。不明の場合はご相談に応じます。

募集要項

第42回・山の文学学校

信州青木村・田沢温泉

3月27日(金)～3月30日(土)泊4日
募集定員40名(先着順・定員締切)
宿舎・田沢温泉 和泉家旅館(貸切)
参加費(交通費別途)

一般59,000円／会員割引57,000円

現地集合・交通費各自負担
申込先／日本民主主義文学会内

創作研究会 別項参照。

窪島誠一郎さんの『「無言館」の庭から』が『民主文学』誌上で話題です。今回の山の文学学校は、窪島さんを「無言館」に訪ね、戦没画学生の展示作品を鑑賞して記念講演をお聞きします。その日を真ん中に据えて、第42回山の文学学校を開催いたします。

なお、講師3氏によるミニ講演は初日の開講式後 最終日30日のゼミ講座は正午までの予定です。